

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月31日記入

| | | | |
|-----------|---------------------------|-------|-------|
| 基本目標 | ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして | 施策コード | 24310 |
| 政策名(章) | 第4章 美しいまちなみと良好な居住環境を創造します | 評価担当部 | 環境保全部 |
| 基本施策名(節名) | 第3節 身近な生活圏のみどり・公園の整備 | 評価担当課 | 公園課 |
| 施策名 | 身近な公園の整備 | 課長名 | 大房 薫 |

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

うるおいやすらぎのある生活空間を形成するため、歩いていける身近な公園の整備を進める。
 身近な憩いの場となる街区公園は、平成17年度末で433箇所・35.79haが設置されており、平成17年度には、19箇所0.89haが開設された。地域とのパートナーシップによる公園計画づくりを推進しているほか、公園の維持管理については、平成15年度から街美化アダプト制度を導入し、近隣住民自らによる自主的な公園管理が行われている。

2 事業費・人員

| 年度 | 平成14年度(決算) | 平成17年度(決算) | 増減の主な理由 |
|-------------|------------|------------|---------|
| 事業費 | | 457,469 | |
| 人件費 | | 53,533 | |
| 市民一人あたりの事業費 | 657 | 766 | |
| 合計 | 404,389 | 511,002 | |

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

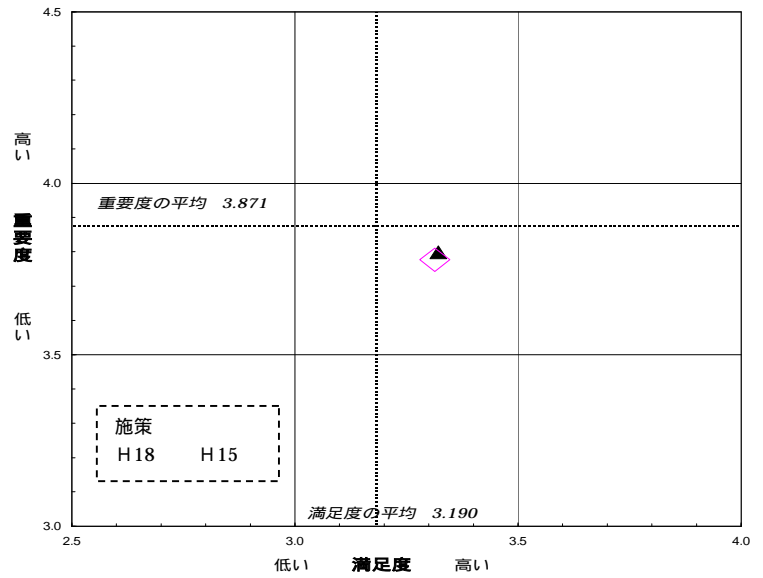
3 成果・活動指標

| | 指標名 | 指標の基準値の定義 | 基準値(単位) | 基準年度 |
|-----|--------------------------|---------------------------|---------|------|
| 指標1 | 街区公園の整備進捗率(開発による提供公園を除く) | 整備済公園数 / 目標公園数(21) × 100 | 0 | H15 |
| 指標2 | 街美化アダプト管理公園数 | アダプト実施公園 / アダプト対象公園 × 100 | 84.80% | H15 |
| 指標3 | 人口一人当たり都市公園公園面積 | 供用告示済公園面積 / 市域人口 | 2.4㎡/人 | H7 |
| 指標4 | | | | |
| 指標5 | | | | |

| | H17目標値/実績値 | 中間年度 | 中間年度の目標値 | 最終年度 | 最終年度の目標値 | 目標値の考え方(根拠) |
|-----|-------------|------|-----------|------|------------|---------------------------------------|
| 指標1 | 9 / 10 | 19 | 15 71% | 21 | 21 100% | 中期実施計画開始年度から最終年度までに毎年3つの街区公園を整備・供用する。 |
| 達成率 | 111.1% | | | | | |
| 指標2 | 90 / 83 | 19 | 実施率90% | 21 | 実施率90% | アダプト制度対象公園に対する実施率を90%とする。 |
| 達成率 | 92.2% | | | | | |
| 指標3 | 5.70 / 2.79 | 19 | 5.89㎡/人 | 21 | 6.08㎡/人 | みどりの基本計画で位置付けられた人口一人当たりの都市公園面積を指標とする。 |
| 達成率 | 48.9% | | | | | |
| 指標4 | | | | | | |
| 達成率 | #DIV/0! | | | | | |
| 指標5 | | | | | | |
| 達成率 | #DIV/0! | | | | | |

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.313で51施策の中で10番目。
 重要度は3.777で31番目である。
 改善要望度は - 0.1537で36番目である。
 年齢別にみると、満足度は70歳以上でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 重要度は50歳代以上で高く、40歳代でもっとも低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位は前回調査と同様である。
 満足度の順位では、30歳代で前回調査より上がり、70歳以上で下がっている。
 重要度の順位では、60歳代で前回調査より大幅に上がり、70歳以上で下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

| 視点の種類 | 評価基準・着眼点 | 評価点 | それぞれの視点に対して評価の具体的根拠 | |
|-------|--|-------|---|------|
| 有効性 | 各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している | 4(2)1 | うるおいやすらぎのある生活環境の向上や良好な都市環境を創造するためにみどり豊かで気軽に憩える身近な公園の整備はますます重要になっており、地域コミュニティーのふれあいの場として街美化アダプトやワークショップによる公園づくりなどさまざまな取り組みが行われている。 | |
| 効率性 | 最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている | 4(2)1 | (仮称)旭町公園、(仮称)豊町公園とも従来の国庫補助金では採択要件外だったが、まちづくり交付金の採択を受け、事業費の4割に国庫補助金を導入する見込みとなった。また、整備内容は、だれもが憩えるオープンスペースを念頭に経費の低減に努めている。 | |
| 市民満足度 | 市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している | 4(2)1 | 市民満足度調査による施策の満足度では上位10位以内に入っているが、重要度が31番目となっており、平均値と比較しやや低い結果となっているが、ワークショップによる公園づくりなど身近で親しみのもてる公園の整備を推進している。 | |
| 合計 | | 6 | 評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下) | |
| | | | | 1次評価 |
| | | | | B |

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

| | |
|-----|--|
| 課題 | 都市部ではまとまった一団の用地の新規取得が難しいため、比較的規模の大きな街区公園(1,000㎡以上)の計画的な配置が困難。 |
| 解決策 | 街区公園の配置状況や生産緑地など取得可能地を踏まえた街区公園の配置方針を定め、特定財源の確保に努めるとともに借地型公園制度などを活用し、計画的な身近な公園の配置を図る。 |

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

| | |
|--|------|
| 今後とも、市民ニーズを的確に捉えた中で、効率的・効果的な施策の推進を図る必要がある。 | 2次評価 |
| | B |

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

| | |
|--|------|
| | 3次評価 |
| | |

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

